

国外研究者の研究修了証交付について

財団法人若狭湾エネルギー研究センターは、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に定める「研究開発機能の強化」への取組みの一環として、また、原子力研究交流制度に基づく当センターとアジアの研究機関との交流促進を目的として、国外研究者を1名受け入れておりましたが、平成25年2月27日で研究を終了することになりましたので、お知らせします。

記

1. 修了証交付式の日時・場所

平成25年2月27日(水) 11:45～11:55

福井県若狭湾エネルギー研究センター 第一・第二交流室

2. 研究者

- (1) 氏名 Dr. Md. Shuza UDDIN
(モハモッド シュジャ ウッディン) [41歳 男性]
- (2) 所属 バングラデシュ原子力委員会 原子力研究所 原子力科学技術研究所
- (3) 研究期間 平成24年9月12日～平成25年2月27日(約5ヶ月半)
- (4) 研究テーマ 加速器中性子源を用いた中性子イメージングに関する基礎検討

(参考) 原子力研究交流制度

昭和59年12月の原子力委員会決定に基づく文部科学省の制度で、公益財団法人原子力安全研究協会が事務局として取りまとめを実施している。

近隣アジア諸国(東アジア・東南アジア)の原子力研究者・技術者を招聘し、我が国の研究機関、教育機関にての研究/研修活動を通し、各国の原子力基盤の整備・強化を図り、もってアジア地域の安全性の強化、さらに我が国の安全性の維持・強化への寄与を目的とする。

対象国は、原子力の平和利用活動を進めている近隣アジア諸国とし、かつ我が国と国交を持ち、核不拡散条約(NPT)締結国であることが基本的条件である。

昭和60年度の実施から、現在までに約1,570名のアジア各国の研究者が、我が国の原子力関係研究機関へ研究/研修のため来日している。

当センターは、平成20年度(平成20年10月～平成21年6月)にはベトナムの男性研究者1名、平成21年度(平成21年9月～平成22年6月)にはスリランカの女性研究者1名、平成22年度(平成22年9月～平成23年6月)にはベトナムの女性研究者1名の受入れ実績を有する。

なお、招聘先の研究機関等は、研究者本人の希望により決定される。

【本件に関する問合せ先】
財団法人若狭湾エネルギー研究センター
企画支援広報部 安田、佐藤
TEL:0770-24-7276